

【2学期が始まりました】

長かった夏休みもあっという間に終わり、今日から2学期が始まります。

夏休み中もプール当番や水泳記録会の応援等で保護者の皆様には大変お世話になりました。また、金管クラブやカラーガード、水泳、植木の水くれ等に子供たちがしっかり取り組めるよう日々支援いただきました。ありがとうございました。

夏休み中も、プールからは子供たちの元気な声が響いていました。そして、子供たちの肌は日に日に小麦色になっていきました。子供たちが着替えている食堂の軒先にあるツバメの巣では、忙しく餌を運ぶ親ツバメの姿がありました。4年生の廊下から見えた非常階段にあったツバメの巣からひなが巣立つことはありませんでしたが、他のツバメの巣から無事巣立ってよかったです。

夏休みの後半には、暑い中、2階の体育館では、金管クラブの子供たちがマーチングの練習に取り組んでいました。そして、1階の食堂ではだいぶ上達した子供たちが一つ一つの動きを確認しながらカラーガードの練習に取り組んでいました。子供たちはすでに2学期に向けて始動しています。その成果が運動会等で発揮できることを期待しています。

2学期が始まってしばらくは暑い日もあると思われます。そのような中で運動会の練習に取り組みます。十分な睡眠をとり、しっかりと朝食を食べてから登校させるなど体調面の配慮をよろしくお願いします。

さて、1学期の終業式で子供たちに話した私の目標ですが、今日の始業式で報告をしました。読書は、手術した左目の見え方としていない右目の見え方が違うためか、長時間読んでいると疲れてしまうため、1日30分の時間で毎日取り組みました。35日の夏休みの期間中、30日トレーニングをしました。弓道では合計1560本引きました。仕事に加えてトレーニングをするのは厳しいこともありますが、長尾小学校の子供たちが夏休み中も頑張っているいろいろなことに取り組む姿を思い出しながらなんとか継続することができました。1500本を超えて、弓道の新しい世界が何か見えるのか期待していましたが、まだまだ悩むばかりで、これからも努力が必要です。

【5年生が宿泊体験学習を行いました】



ウォークラリーの説明

8月17日、18日の1泊2日の日程で、北毛青少年自然の家で5年生が宿泊体験学習を行いました。

1日目は、長尾小学校で出発式を行なった後に、2台のバスで北毛青少年自然の家に向かいました。到着後、入所式を行い、ウォークラリーの開始です。はじめに、ウォークラリーについての説明を聞きました。目標時間やコマ図（分かれ道や目印となる看板などを部分的に示した地図）の見方、信頼と友情を大切にすることなどの話でした。

説明の後、10班に分かれ、2班ずつ5分間隔でスタートしました。コース途中には5つのチェックポイントが設定されていて、グランドゴルフや長縄跳び、全員での歌、しりとり、記念撮影などに班の全員で取り



渋川市水泳記録会の様子

組みました。目標時間の94分ちょうどでゴールしたところが2班ありましたが、2時間以上かかった班もありました。それでも10班の全員が完歩することができました。

昼食後は、ブーメランとクラフトの2班に分かれて活動をしました。ブーメランでは、3枚の



ブーメラン作りの様子

羽を見本の絵を見ながら丁寧に時間をかけて削り、最後に思い思いの絵や模様を描きました。クラフトでは、丸い木を3種類のサンドペーパーで磨き上げ、最後に絵や文字を描きました。2時間以上にわたる活動でしたが、全員が集中して取り組み、お気に入りのお土産を作ることができました。

夕食では、初めて北毛青少年自然の家の食事を食べました。2組の食事係が準備した後に、全員が自分のおかずを盛り付けて食事を用意しました。楽しく食事をした後、食器の片付けも各自が行いました。

夕食後は、急いで準備をして天文台に向かいました。1台のバスで1組、2組の順番で天文台に移動しました。天文台まで向かう道は街灯もなく真っ暗です。全員がそろい、7時30分頃からの見学になりました。天文台の職員の方から「天体望遠鏡について」、「太陽について」、「星座早見盤の使い方について」の3つについて説明を受けました。見学後はまた、1台のバスで北毛青少年自然の家に戻り、入浴を済ませて就寝の準備を部屋ごとに協力して行いました。盛りだくさんの日程の1日目でしたが、決められた10時の消灯時間に全員が布団の中に入ることができました。

2日目も6時30分に起床すると休む暇なく、寝具の片付け、朝の集い、朝食、部屋・荷物の整理、清掃に取り組みました。まとめた荷物を体育館に置いた後、キャンプサイトにおいて、班ごとに飯盒炊さんに取り組みました。はじめに全員で、火の付け方、飯盒でのごはんの炊き方、カレーの作り方、食器・鍋等の洗い方について説明を聞きました。

いよいよ飯盒炊さんの始まりです。ナタでの薪割りもほとんどの子供が初挑戦です。はじめは恐る恐るナタを使っていたのですが、慣れるにつれて力を入れて割ることができるようになりました。次の壁は火をおこすことです。新聞紙の上に割った細い薪を並べてマッチで火をつけます。マッチで火をつけた経験のない子供にとっては、一苦勞です。マッチに火がつくと指のすぐそばに火があるのとすぐにマッチの軸が燃えてきます。それは恐怖です。火が着くと同時に新聞に向けてマッチを投げる子供もいました。それでも何度か挑戦して、新聞紙の縁に火をつけ薪に火を移し、火をおこすことができました。火がおきてからの飯盒でのごはん炊き、カレーづくりはとても順調であつという間でした。できあがったカレーライスも班ごとにまとまって食べました。

楽しく食べた後の食器・鍋等の洗いが大変です。少しでも汚れが残っていると洗い直しです。事前にそのことを聞いていた子供たち（引率した先生も）真剣です。「これでいいですか?」「まだ全体に黄色いよ」「まだスポンジが黒くなるな」などチェックしながら何度も洗います。北毛青少年自然の家の職員から食器について合格をもらった子供が今度はチェックに加わります。みんなで確認しながらクレンザーを使って磨きます。みっちり2時間を費やし食器・鍋等を洗いあげました。

飯盒炊さんを終え、退所式を行い、2台のバスで長尾小学校に戻ってきました。1泊2日の充実した宿泊体験学習も無事終了することができました。

今回の宿泊体験学習の活動の中で、班の全員が地図を見ながら歩く姿、二人で毛布をもってたたむ姿、みんなで食器・鍋洗いに真剣に取り組む姿など子供たちの成長した様子を見ることをできました。

2学期、5年生の子供たちはひとまわり大きくなって、長尾小学校の中心となって、運動会をはじめいろいろな場で活躍してくれることを確信しました。



食器・鍋等を洗う様子